

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

国立公文書館	
分類	
	返 赤
配架番号	3 A
	14
	40-3

會同席上於ケル兵器部長口演要旨

SHIMAZU ARCHIVE # 10/20
63

信

昭和九年六月十一日
於旭川借行社

第七師團司令部留守部

国立公文書館	
分類	
配架番号	10-3

めくれず

兵器部長口横要旨

一、戦用兵器ノ平時使用ト其ノ保續ニ就テ
 時局兵備改善ニ伴ヒ戦用兵器ノ整備力著々進
 展シツツアリマスコトハ各位ノ既ニ熟知セラ
 ルル所テアリマス之等ノ兵器ハ平時ニ於テ十
 分其ノ操用ニ習熟セシメネハナラヌコトハ勿
 論テアリマスカ之ト同時ニ其ノ機能ヲ確實ニ
 保全スルコトモ亦緊要欠ク可カラサルコトテ
 アリマス
 然ルニ之カ衰損ニ對スル保續補修費ハ殆ト増
 額ヲ受ノル望ナラシメテ常費ノ繰合セニ依ラナケレ
 ハナラヌ現狀ニアリマス其ノ整備ノ良否ハ直
 ニ國軍ノ戦闘力ニ影響スル所テアリマスコト
 ハ留守司令官御訓示ノ通テアリマス

然ルニ其ノ取扱往々粗漏ニ流レ又此動部隊ニ
アリテハ兵馬倥偬ノ間兵器愛護ノ違ナキ情況
ト押收兵器ノ使用ニ徇レテ兵器尊重心ノ低下
ヲ來シタルト兵器ニ關スル識能ノ理解不十分
トニ起因スル事故カ其ノ例甚クアリマセ又實
狀ニ考ヘ一層其ノ愛用ニ留意セラレ有事ノ日
ニ於テ戰用兵器タルノ性能ニ遺憾ナカラシム
ルト共ニ經費ノ節約ニ注意セラレタイノテア
リマス

兵器ノ秘密保持ニ就テ

兵器ノ秘密保持ニ就キマシテハ從來不文律的
兵器ノ秘密保持ニ就キマシテハ從來不文律的
ニ之ヲ實施シテ來タモノカ多ク具體的規定ハ
甚ナカツタノテアリマスカ時局柄一定ノ規則
ヲ設ケテ一般ノ準據スル所ヲ明示スル必要切

ナルモノカアリマスノテ最近中央部ニ於テハ
兵器ノ秘密保持ニ關スル規定ヲ立案シ追テ発
布セラルルノ運トナルノテアリマスカ兵器ノ
秘密保持ニ就キマシテハ其ノ重要性ニ鑑ミ特
別ノ留意ヲ煩シタイノテアリマス
尚ホ規定發布ノ上ハ實施ノ狀況ニ照シ將來ノ
改善案ニ就テハ隔意ナキ意見ヲ提出セラレタ
イノテアリマス

三 滿洲事件使用兵器ノ復舊ニ就テ

滿洲事件使用兵器ノ復舊ニ就テ
事件ノ爲メ使用シマシタ兵器ノ復舊ニ就テハ
既ニ手續中テアリマスカ之カ徹底的復舊ハ今
日直ニ實施スルコトハ許サレナイノテアリマ
シテ當師團今回ノ復舊ハ昭和七年陸滿普第一
五六六號ニ依リマス所謂應急復舊ヲ實施スル

次漢テアリマス從テ復舊賞ノ令達モ極メテ僅
少ト察セラレマスカテ努メテ經費ヲ節約シ且
ツ成シ得レ限リ平常ノ手續ニ依リ不取敢教育
訓欲ニ差支ナキ如ク處理スル様指導セラレタ
イノテアリマス
四 彈藥ノ貯藏取扱竝之ニ因スル危害豫防ニ就テ
從來彈藥ノ貯藏取扱ノ失當カラ幾多悲惨ナル
事故ノ發生シマシタコトハ各位ノ方々御承知
ノコトテアリマスノテ一々茲ニ例証ヲ擧ケマ
セヌカ昨年全國ニ亘リ之カ検査ヲ實施セラレ
マシタノモ之カ対策ノ一ノ現ハレテアリマス
而シテ其ノ結果當頭團ノ成績カ各位ノ御骨折
ニヨリマシテ幸ヒ良好ニテアリマシタコトニ就
キマシテハ御同慶ニ存シマスカ危害豫防上ニ就

ノ事故ハ皆無トハ申サレヌノテマダマダ安神
ノ出來ル程度ニハ達シテ居リマセヌコトハ最
近行ハレマシタ檢閲検査ノ結果ニ鑑ミマシテ
断言シ得レノテアリマス其ノ不十分ト申シマ
ス点ハ貯藏ト申シマスト直ニ平時ノ貯藏ノミ
ヲ聯想シ戰場ニ於ケル設備不完全ナル場合ノ
貯藏ニ思ヒ反ハス從テ貯藏法ハ兵器委員之ヲ
承知スレハ足ルトノ誤レル結論ヲ生シ易イコ
トテアリマス
取扱法ニ就テモ亦然リテアリマス斯ル考ハ此
際之ヲ一掃シ苟モ戦闘ニ直接關係アルコトハ
普遍的教育ヲ施シテ頂キタイノテアリマス
今日ハ各位御承知ノ通格御ハ火藥ノ種類毎ニ区
トシテ居リマス詳言スレハ火藥ノ種類毎ニ区

分格細スル方式テアリマス之カ爲ニハ軍用火
 薬ノ種類性質ト之カ用途ヲ知ルコトカ合法的
 取扱ノ近途テアルト信シマス昨年八月參謀長
 ノ登セラレタ之ニ關スル通牒モ此主旨テ出来
 テ居ルノテアリマス
 危害豫防ニ就キマシテモ之ヲ理論的ニ教育シ
 テ置クノヲ理解記憶上適當ト信シマス
 最近各種彈薬ノ制定ヲ見彈薬取扱細則モ近ク
 改正發布セララル答テアリマスカ其ノ要點ハ
 概ネ次ノ通テアリマス
 一 現行細則ヲ基礎トスルモ現在ノ編制施設等
 軍隊ノ實況ニ一層適應セシムル如クセルコ
 二 軍隊ニ於ケル細則ノ實施ヲ容易ナラシムル

如ク記述セルコト
 一 新制定特種彈薬ニ關スル事項ヲ加ヘタルコ
 二 應用爆薬ニ關スル事項ヲ加ヘタルコト
 三 市井火工品ノ使用ニ就テ
 四 規定外ノ火工品ノ調製及使用ニ關シマシテハ
 五 昭和二年陸普第一二六五號其ノ他ニ於テ屢々
 注意セラレテ居リマスカ近時各種ノ市井火工
 品續劣シ其ノ價格カ低廉ナルタメテ市井火工
 品使用セントスル向カアリマス之等民間火工品
 ハ其ノ品位餘リニ低ク保存取扱上極メテ危険
 性ヲ包藏スルモカ尠クアリマセヌノテ從來
 一般ニ使用ヲ制限スルノ方針ヲ採ラレツツア
 リマシタカ一方演習教育上各種火工品ノ需用

五 市井火工品ノ使用ニ就テ
 規定外ノ火工品ノ調製及使用ニ關シマシテハ
 昭和二年陸普第一二六五號其ノ他ニ於テ屢々
 注意セラレテ居リマスカ近時各種ノ市井火工
 品續劣シ其ノ價格カ低廉ナルタメテ市井火工
 品使用セントスル向カアリマス之等民間火工品
 ハ其ノ品位餘リニ低ク保存取扱上極メテ危険
 性ヲ包藏スルモカ尠クアリマセヌノテ從來
 一般ニ使用ヲ制限スルノ方針ヲ採ラレツツア
 リマシタカ一方演習教育上各種火工品ノ需用

相當大ナルモノカアリマスノテ今回低廉ニシ
テ而カモ安全確實ナル火江品ヲ制定セラレ之
ヲ民間会社ニ注文シ得ル如クシ近々内ニ左記
ノ各種彈藥ノ制式発布ヲ見ル筈テアリマス
ラ各部隊ハ努メテ之等ヲ使用シ其ノ他ノ市井
品ハ絶對ニ購入ヲ避ケラレタイノテアリマス
之カ發賣先等ハ其ノ以御知ラセ致シマス

左記

九四式代用發煙筒

九三式演習用照明彈 (各種)

九三式演習用信號彈 (各種)

九三式四輝演習用信號煙火 (各種)

九三式演習用照明煙火 (各種)

六演習用彈藥ノ消費及繰越ニ就テ

演習用彈藥ノ消費狀況ニ就テハ依然トシテ其
不足ヲ訴ヘラレル一方繰越及返納數カ相當多
量ニ達スルノテアリマス之等ハ彈藥使用計畫
及其ノ實施ノ的確テナイモ其ノ一因ト認メ
ラレルモノカアリマス將來特ニ此ノ點ニ留意
指導シテ頂キタイノテアリマス又消費殘彈ノ
繰越ハ兵器取扱規則第三十ニ條ニ示ス通使用
計畫ノ確立シタモノニ限リ許サレルノテアリ
マスカテ否ラサルモノハ兵器部ニ返納セラレ
タイノテアリマス
尚ホ彈藥ノ不足量並ニ特種ノモノハ演習費支
辨ヲ以テ購入シ得ルコトハ御承知ノ通テアリ
マスカ其ノ請求ノ期日ヲ確實ニスルコトニ就
テ特ニ御指導ヲ煩シ度イノテアリマス

リマセヌト現品ノ準備調製及輸送ニ要スル時
 日ニ餘祐ナク各隊ノ御希望ニ副ヒ得ナイコト
 カアリマス又品目ノ記載ハ兵器細目名稱表ト
 合致スル様特ニ御配慮ヲ煩シタイノテアリマ
 ス
 尚九ニ式歩兵砲彈藥ハ各隊共ニ瞬發信管ノミ
 ヲ消費シ短延期信管ヲ殆ト使用セズ返給セテ
 レマスカ研究訓練上共ニ一考ヲ要スルコトト
 存シマス
 七 工長ノ指導ニ就テ
 最近軍隊ニ於ケル兵器業務ハ著シク複雑多岐
 トナリ兵器委員特ニ砲工兵工長ノ活躍ヲ必要
 トスルコトハ到底昔日ノ比テハアリマセン
 然ルニ工長ノ増加配屬ハ編成其ノ他ニ關連ス

ル所多ク率急ニ詮議困難ナル状況ニ在リマス
 ハテ當面ノ問題トシテハ工長ヲシテ最大ノ能
 率ヲ發揮シテ勤務スル様指導スルヲ最モ良
 策ト考ヘマスノテ工長教育ヲ勵行シ其ノ技能
 ヲ向上スル事ニ努力カシテ居リマスカ各部隊長
 ニ於カレマシテモ工長ノ識能、劣身ノ境遇等
 ヲ顧慮シ理解アル愛護ト扶擁トヲ興ヘ其ノ志
 氣ヲ振起シ積極的ニ業務ニ盡瘁スル如ク指導
 セラレ度イノテアリマス

[Faint, illegible text on the left page]

[Faint, illegible text on the right page]

5/10/20
6/3

